

全国を味わう！

## ジオスイーツ パラダイス

12.18(日)

会場：サンワーク美祢

※イラストはイメージです。

### 全国のジオパークで当地スイーツをお取り寄せ！

特産品の多くは地形や地質、気候、文化などに深く関わっています。地球のめぐみでできたスイーツを味わいながら、美祢市で日本全国を旅してみませんか？

- 内 容 日本各地にあるジオパークのスイーツを60分間お楽しみいただけます。※各種1個まで
- 日 時 令和4年12月18日(日)  
1部 13:00～14:00 (受付12:30～13:00)  
2部 15:00～16:00 (受付14:30～15:00)
- 会 場 サンワーク美祢 多目的ホール
- 参加費 1人1,000円 ※幼児同額
- 申 込 電話(土日除く)または ホームページ
- 申込受付 12月2日(金)9時～12月12日(月)17時
- 定 員 1部20名 2部20名 ※先着順
- 問合せ先 Mine秋吉台ジオパーク推進協議会(電話：0837-63-0055)

1部・2部、共に種類は同じです。

会場マップ



申込み



※新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、アルコール消毒等のご協力をお願いします。

# 日本ジオパーク全国大会 が行われました!!



長い年月の間、  
形を変えてきた  
白山市を流れる  
手取川



開会セレモニーの様子

10月21日～23日の3日間、石川県白山市で「第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会」が開催されました。

今大会は、「地球と旅する～白山手取川の地から地球と人の未来を考える～」をテーマに、基調講演や分科会、パネルディスカッションや口頭発表などが行われ、全国のジオパーク関係者や学生、地域の方々が参加しました。Mine秋吉台ジオパークからも、事務局員のほか、ジオガイドや伊佐中学校の生徒が参加しました。

## ▶▶ 伊佐中学校3年生が発表しました

日本ジオパーク全国大会白山手取川大会で、伊佐中学校3年生の森岡尚哉さん、沼本望さん、篠田和樹さんの3人が「SDGsの視点から、ふるさと伊佐の将来を考える」と題した口頭発表を行いました。緊張した面持ちでしたが、学習の成果を全国に発信することができました。

他にも、全国の学生が集まり、まち歩きをしながら地域の将来などについてみんなで考えるユースセッションや、北海道のアポイ岳ジオパーク内にある様似中学校の生徒と、お互いのジオパークについて紹介し合うなどして交流を深めました。



口頭発表の様子



ユースセッションの様子



様似中学校との交流

## 「日本ジオパーク全国大会白山手取川大会に参加して学んだこと」

大会に参加して、地元を盛り上げるためにSNSを利用すればよいことを知った。ユースセッションで高校生や大人の方との交流の中で、鳥根県の隠岐高生からインスタグラムで地元の魅力を発信していることを聞いた。実際にアクセスしてみると、ローソク島と呼ばれる島やきれいな海の写真が投稿されていた。大岩郷や桜山から見る伊佐の景色を発信して少しでも多くの方に訪れてもらうためにも、美しい伊佐を守り続けていきたい。  
(森岡尚哉)

一番心に残ったことは、ユースセッションで鶴来町について学ぶ中で知った盤持石だ。この石は、神社や寺院に置かれた重い石で、祭り等の伝統行事で持ち上げて吉凶を占うものだと知り、驚いた。伊佐の伝統といえば、十七夜の祭りだ。小学生の時には、大人に混じってみこしをかついだことをよく覚えている。しかし、みこしをかついで町を歩く理由をよく知らなかったことに気付いた。伊佐の伝統をよく知り伝えられるようになりたい。  
(沼本望)

白山市の中を散策することで、白山市の自然と町の人々の生活の関係について学ぶことができた。特に印象に残ったことは、白山市は扇状地であるにも関わらず、手取川の豊富な水を利用した用水路があり、田園が広がっていたことだ。美祢にもたくさんの田畑があるが、白山のように大きな川は流れていない。美祢の田畑にはどんな水が使われているのか不思議に思う。美祢について更に調べ、美祢市をもっと好きになりたい。  
(篠田和樹)